

第14次 実施計画シート兼初期診断書(継続用)

事業事業の概要	事務事業名	街区公園再整備事業		整理No.	18	
	担当課	都市計画課	事業別	<input type="checkbox"/> 非建設事業 <input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	作成年度	平成20年度
	体系	大-中-小	I-2-(2)集う公園・遊び場			
	系	施策のあらまし	① 都市公園の整備	ページ	30	
	マニフェスト	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し				
実施期間	平成19年度～(29)年度(—年間)					
根拠法令要綱等	名称				<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	
	市の実施義務	<input type="checkbox"/> 義務規定 <input type="checkbox"/> 努力規定 <input type="checkbox"/> 任意規定 <input checked="" type="checkbox"/> その他	(公園再整備のすすめ事業に基づくもの)			
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他()					

目的(何のために)	「公園再整備の進め事業」により、地元からだされた公園の再整備の要望に対し利用しやすい公園に改修する。	対象(何・誰を対象に)	地元からの公園再整備事業の発起人及び公園利用者を対象にする。施設については、再整備の要望があった公園を対象とする。
手段(どのような事業を実施して)	年に2回程度、老朽化した公園を対象に地元住民(再整備の発起人等)の提案及び意見を集約しながら計画し再整備を実施する。整備期間は、再整備の申請が採択されてから基本設計、実施設計、整備工事の順に実施し、おおむね3年程度となる。	成果(どのような成果を期待するか)	公園の全面改修であり、地元住民の意見を取り入れた計画となっていることから、安全性はもちろん、環境もよくなり、公園利用者の増加が見込まれる。

事業環境	筑紫地区等近隣自治体との比較(実施状況、サービス水準の平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> 同程度 <input type="checkbox"/> 低い
他課等の関連事業	課名 事業名	

視点別評価	評価項目	1次		2次	
		1次	選択理由、特記事項等	2次	選択理由、特記事項等
市関与の妥当性	①市民等のニーズ	2	「公園再整備のすすめ事業」に基づき整備計画を住民が作成し、工事を市が行っており妥当。	2	1次診断のとおりである。
	②法的な義務性	1			
	③代替性	3			
	合計(9点中)	6			
手段・内容の適切さ	①担い手の妥当性	1	住民主導で整備計画を作成しており、学識経験者公開審査会にて、採択決定を行い設計・工事を行っている。	1	アイデアワークショップで出された案に対して、市がデザインワークショップでグレード設定を行えるように変更されて、より適切な内容となった。
	②受益者負担	3			
	③効率性	3			
	合計(9点中)	7			
有効性	①目的の達成状況	2	再整備の発起人のなり手が少なく、当初予定していたよりも、再整備件数も少ない。	2	1次診断のとおりである。
	②成果の状況	1			
	③上位施策への貢献度	2			
	合計(9点中)	5			

1次(事業課)診断	診断結果	<input type="checkbox"/> 拡大・重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しの上で継続する <input type="checkbox"/> 統合する(検討分も含む) <input type="checkbox"/> 縮小する(検討分も含む) <input type="checkbox"/> 廃止・休止する <input type="checkbox"/> 終了	担当課長所見	本事業は、公園再整備のすすめ事業に併せて実施し、毎年成果をあげており継続事業とする。
	改善点及び改善を実現するための条件			

2次診断	診断結果	診断理由等	事業費	人員
			<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 削減 <input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> なし
	<input type="checkbox"/> 拡大・重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの上で継続する <input type="checkbox"/> 統合する(検討分も含む) <input type="checkbox"/> 縮小する(検討分も含む) <input type="checkbox"/> 廃止・休止する <input type="checkbox"/> 終了	少子高齢化が進む中、地域における公園に対するニーズが大きく変化してきていることから、従来の発想にとらわれない再整備を進める必要がある。その際、公園再整備の進め事業分を含め、よりコストがかからない、住民満足度を高める公園再整備の方法を検討することが必要である。 あわせて、市民との協働(検討、整備に係るコスト負担、維持管理等の各段階)による公園整備のあり方を検討する必要がある。特に公園の維持管理は全て地元の役割とする方策を推進する必要がある(区だけでなく、各被団体がNPOが里親となるような協働型も期待する)。		